

集中改革プランは 令和8年度から10年度までの3年間で実行します

集中改革プランでは、職員数の適正化や歳入確保の取り組みのほか、支所を廃止し、代わりに住民サービスを提供する(仮称)窓口サービスセンターの設置を進めていきます。また、本市は近隣自治体と比較して、直営事業の割合が高いため、民間活力の導入にも積極的に取り組みます。

3つの取り組みについてスケジュールをお知らせします。

取り組み内容	令和8年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和9年度	令和10年度
支所の廃止・(仮称)窓口サービスセンターの設置	専門部会での検討開始		(仮称)窓口サービスセンター業務の整理、開庁時間の見直し										開庁時間変更(予定)	支所の廃止・(仮称)窓口サービスセンターの設置
公共施設の使用料等の適正化	「公共施設の使用料等の見直しに関する基本方針」運用開始	市民等説明会											4月～市外利用者の減免撤廃開始 9月新料金決定	4月～新料金と新減免の運用開始
市単独補助金の適正化	補助内容の見直し 「香南市補助金適正化基本方針」運用開始												4月～見直し後の内容で順次運用開始	

外部有識者を交えての行政改革推進委員会では、進捗をご報告します。(年4回)
広報誌でも随時お知らせします。



第三次香南市行政改革大綱および第三次集中改革プランはこちら。各支所でも閲覧できます。

説明会を開催します

時間はいずれも14時からです

日程	場所
5月16日(土)	赤岡市民館(1階ホール)
5月17日(日)	香我美市民館(1階大ホール)
5月23日(土)	夜須公民館(2階大研修室)
5月24日(日)	のいちふれあいセンター(2階研修室)
5月31日(日)	吉川防災コミュニティセンター(2階ホール)

議事(予定)

- 第三次集中改革プランについて
- 定員管理計画
- 支所の廃止・(仮称)窓口サービスセンターの設置
- 市単独補助金の適正化について
- 公共施設の使用料等の適正化について
- 質疑応答

お知らせ

7月に開催予定の香南トークでも行政改革の取り組みについて説明します。
詳細は6月号でお知らせします。

まちを運営するための お金が本当に足りなくなる

香南市では、令和5年度の一般会計決算において、実質単年度収支が合併以来、初めて赤字となり、収支不足を補うため、財政調整基金(市の貯金)を4億円取り崩しました。さらに、令和6年度においても6億9千万円を取り崩しており、今後も財政赤字は続くものと推測されます。この背景には、施設整備経費を含め、近年の物価高騰による事業費の増加や公債費(市の借金返済)の増加、国の人事院勧告により人件費が大幅に増加したことなどがあります。

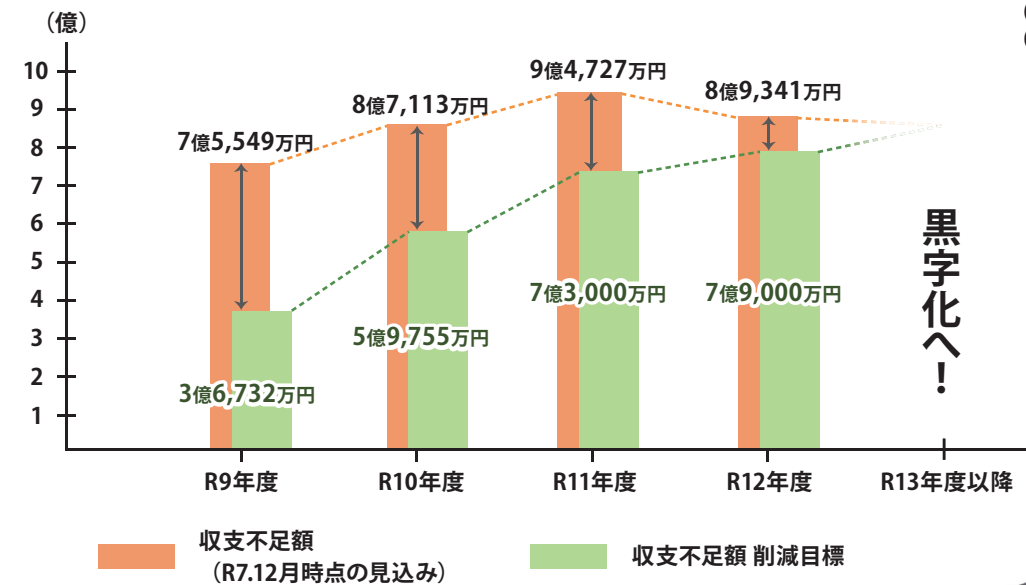
このままていくと近い将来、財政調整基金は枯渇してしまいます。

解決するには「行政改革」

市の収支見通しでは、令和9年度から12年度までの4年間で約34億円の収支不足が見込まれます。

市では、このような厳しい財政状況を踏まえ、「第三次香南市行政改革大綱」および具体的な取り組みを推進するための「第三次集中改革プラン」を策定し、持続可能なまちづくりを目指し、行政改革に取り組みます。

第三次集中改革プランでは、令和9年度から12年度までの**4年間で約24.8億円の収支不足を解消**し、令和13年度以降の黒字化を目指します!



※ ← → の部分は、財政調整基金を取り崩して補います

未来の世代に負担を先送りするのではなく、今ある仕組みを抜本的に見直し、限られた財源と人員を「市民の皆さんの安心」や「街の活性化」へと最大限に活用できるよう進めていきます!



第三次集中改革プラン

総務課 578500

香南市の「えい未来」を創るために